

# 栄東げん志っ子

《中学生編》

第173号 2024.9.1 発行

＜編集発行＞

栄東地区まちづくり未来会議

＜問合せ先＞

栄東まちづくりセンター

電話 711-2203

## 防災、今、中学生でもできること

8月8日、九州で発生した震度6弱の地震で、はじめて国から「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」が出されました。巨大地震が発生する可能性が「ふだんよりも」高まっていることを示す情報です。何ごともなく、8月15日に終了しましたが、“対岸の火事”と構えてはいられません。大災害は、札幌でも発生する可能性があります。今号では9月1日の防災の日にならみ、中学生でもできることを考えてみましょう。

### ハザード・マップで地震、洪水の危険性を知ろう！

災害に備えるには、まず、栄東地区で発生が想定される地震や洪水で生じる危険の可能性（リスク）を知ることが大切です。札幌市では、自宅周辺の地震発生時の震度、洪水時の浸水の状況を地図に落とししたハザード・マップを全家庭に配布しています。

このマップは、災害被害の軽減や防災対策のため、被害想定区域や避難場所などの情報を表示しています。住んでいる場所の地震の想定震度はどのぐらいなのか、被害はどの程度なのか、また、洪水発生時、自宅は床下浸水なのか、床上浸水なのか、さらには、自宅内や周辺にはどのような危険性があるか、などを確認しましょう。ご自宅にマップが保管されていない場合は、ホームページを活用しましょう（右のQRコードで地図部分を拡大して確認できます）。

配布されたマップには、避難情報の意味、避難方法、災害情報を知る手段、災害への備えなどの情報が掲載されています。なくした場合は、栄東まちづくりセンター（東区北41条東14丁目）でも取り寄せることが可能です。



地震のハザード・マップ



洪水のハザード・マップ



### 災害に備えよう

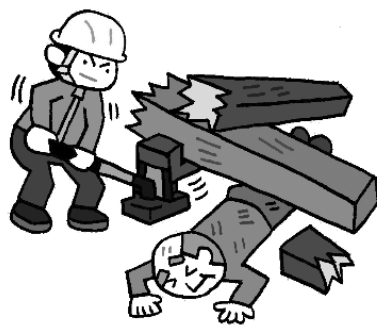
大災害で身の回りに想定されるリスクを知ったら、できる対策を始めましょう。例えば、大型家具などは、震度6弱の震度で倒れてくる可能性があります。よく、家具などを固定し、家具の転倒方向に寝ないなどと言われるのはこのためです。

地震で水道が断水すれば、トイレも流せなくなります。水害の場合は、床下浸水でも下水管が浸水でいっぱいになり、トイレが逆流したり、水を流せなくなったりします。停電でテレビも見ることができず、情報収集に必要なスマホの充電

ができません。水道、ガス、停電で、日常生活に様々な支障をきたします。

大災害時に何が起きるかは、過去の例から明らかです。例えば、カセットコンロやモバイルバッテリー、3日分の水や食料、簡易トイレなどを備蓄するなど、各家庭でできることから備えましょう。皆さんの中学校は、大災害時に避難所になりますが、水の備蓄はありません。食料も数百人の2、3日分程度しかありません。大災害時、支援活動が本格化するのは数日かかります。各家庭での備えが必要な理由がここにあります。ハザード・マップには、こうした情報も掲載されていますので活用してください。

# 防災知識を学び、今できる行動をはじめよう！



災害はいつ発生するかわかりません。平日の昼間は、働き盛りの大人は働きに出ていて、自宅周辺には、高齢者や小中学生などしかいないということもあります。自分の命は自分で守ることは当然として、身近な人を助け、地域に貢献することは中学生にもできることなのです。そのためには、災害に対する知識を身に付け、日ごろから災害時の対応を考えておくことが必要です。

大地震が発生した場合、まず、落下物などから自分の頭を保護することが大切です。最優先に自分を守る行動をとりましょう（自助）。揺れが収まってから、火元を確認したり、出口を確保したりします。

水害の場合は、栄東地区は、家が流されるほどの被害は想定されていませんが、テレビやラジオ、インターネットなどで常に最新の気象情報を確認しましょう。早めにリスクを知ることが、危険を回避する第一歩です。情報リテラシー（情報を適切に活用できる基礎能力）の高い中学生の出番です。

いざというとき、自分の命を守ることができたら、次に、身近な人を助けることも考えましょう（共助）。例えば、避難するときに、隣近所に声を掛ける、助けを求める人がいたら、応援を呼ぶなど、中学生でもできることはたくさんあります。

もし、避難所が開設されたら、校舎を熟知した自分が通う（通った）小中学校かも知れません。

2011年の東日本大震災や今年1月の能登半島地震のときも、中学生は、災害直後の避難生活でも自分たちにできることを見つけ、積極的に取り組みました。

段ボールの仕切りの設置、物資の運搬、整理などを行い、人員が少ない被災後の緊急対応を支え、避難生活の大きな力となりましたとされています。

中学生も、守られるだけの存在ではなく、幼い子どもたち、大人たち、高齢者とともに、地域を構成し、地域を守る一員であることを忘れてはなりません。



## 9月の予定（9月10日～10月9日開催）

月日	時間	行事名	場所	対象	申込有無・参加費	問合せ先
毎週 水・金	18:00～21:00 (中学生は19:00まで)	中高生夜間開放事業 「ふりーたいむ」	ひのまる児童会館	中高校生 (登録カードが必要です)	申込なし 無料	ひのまる児童会館 752-1551
毎週 火・金	18:00～21:00 (中学生は19:00まで)		栄西児童会館			栄西児童会館 752-8363
毎週 火・木	18:00～21:00 (中学生は19:00まで)		丘珠たから児童会館			丘珠たから児童会館 784-8095
毎週 火・木	18:00～21:00 (中学生は19:00まで)		栄西小はんのき児童会館			栄西小はんのき児童会館 768-8883